

名前

1. 中性 2. 酸性 3. 強アルカリ性 4. アルカリ性

1. 純度の高い気体が集められるという利点があり、最初に集まる空気混じりの気体は捨てる必要がある。	2. 空気より重い気体を安全に集められる利点があり、加熱を止める前にガラス管を水から出す必要がある。	3. 水に溶けやすい気体を効率よく集められる利点があり、気体が漏れないよう試験管を深く沈める必要がある。	4. 有毒な気体を閉じ込めることができる利点があり、試験管内に水蒸気が残らないよう加熱を強める必要がある。
---	--	--	---

1. 138g 2. 12g 3. 8g 4. 150g

1. ミョウバン 2. 塩化ナトリウム 3. 全ての物質で同じ質量の結晶が出る 4. 硝酸カリウム

1. 炭素 2. 酸素 3. 水素 4. 窒素

1. ポリエチレンテレフラレート 2. ポリプロピレン 3. ポリスチレン 4. ポリ塩化ビニル

1. 液体はガラス棒を伝わせずに直接漏斗に注ぎ、漏斗の足の先端はビーカーの内壁から離しておく。
2. 液体はガラス棒を伝わせて少しづつ漏斗に注ぎ、漏斗の足の先端はビーカーの内壁から離しておく。
3. 液体はガラス棒を伝わせずに直接漏斗に注ぎ、漏斗の足の先端をビーカーの内壁にぴったりとつける。
4. 液体はガラス棒を伝わせて少しづつ漏斗に注ぎ、漏斗の足の先端をビーカーの内壁にぴったりとつける。

1. 水とエタノールが結びついた、全く別の新しい物質になっている

1. 水に溶けやすい性質を持つ気体に適しており、試験管に気体が満たされたらすぐにゴム栓をして水槽から取り出す。
2. 空気よりも密度が小さい性質を持つ気体に適しており、ガラス管の先を試験管の底まで深く差し込んで集める。
3. 水に溶けにくい性質を持つ気体に適しており、集め始めの気体には装置内の空気が混じっているため、しばらく待ってから集める。
4. 空気よりも密度が大きい性質を持つ気体に適しており、加熱を止める前に必ずガラス管を水槽の外に出しておく。